

テーマ 3：暮らしを支える地域公共交通（3件）

3-1 【湯沢市、60代】

テーマ 3 とテーマ 10

車がないと、日々の生活が大変という地域柄。

車がないと、観光も大変。湯沢は駅の小さな kiosk と、駅前の和物屋さんが少し置いていて、お土産買うにも車がないと不便という、観光客にも優しくない場所。

これからますます高齢者が増えて、年取るごとに住みにくくなっていく現実。

いったん減便や廃線にしてしまうと、復活することはかなり困難なこととは分かっているものの、利用者がほとんどいない。

私が住んでいる場所は、駅が近く便利ですが、駅から離れた場所に住んでいる方には車がないということは、大変なことです。

車が無くて便利な交通機関があったらみんな助かります。

でも、人口が人口なだけに、都会のように考えにくいです。

今、運行しているバス、乗っているのはほんの数名、お金がかかるけど車体を小さくして、数人乗りで、エコなのに替えれたら、お金がかかるけど、どうなんでしょう。

また、交通機関を利用するとなると、荷物という問題点もあります。年配者には特にです。

歩行が困難で、スーパーでもカートを利用している方が少なくないので、マイカート利用で、乗車可能な公共交通機関が作れないものかと考えたことがあります。

問題点は雪の季節、どうしたものかと、。

みんな今は普通に車に乗っているから、車を使わない生活を考えることは少ないし、考えたところで、どうにもならないって思っているから、諦めている方が多いのではとも思います。

楽しいイベントを企画して、まずは利用していただいて、身近に感じていただけたら、普段から利用してみようという方も増えるのかなと思ってみたい。

文章力がなくてごめんなさい。

車が無くて不便なく生活ができ、自然がいっぱいで、里山みたいに動物と棲み分けができて、楽しい町になったら嬉しいです。

私は、この中途半端な田舎な湯沢が大好きです。

3-2 【秋田市、30代】

秋田市をはじめとした県内で人口の多いところは、ライドシェアの解禁とタクシーの定額乗り放題などをメインとしたサービス展開。上小阿仁村をはじめとした人口の少ないところでは、自動運転をメインとしたサービス展開で交通の便を支えるのがよいと思う。

3-3 【大仙市、30代】

突然メールを拝送することをお許してください。

いつもお世話になっております。

早速ですが、的外れでしたらすみませんが、

小林よしのり氏の脱原発論参考にして、可能な所から秋田県で生まれた太陽光や風力、間伐材を使った火力、水力、バイオマス、地熱のエネルギーを売電や充電したり、それらを使ったバス、鉄道、飛行機、レンタカーや、無人で走るバス、鉄道、飛行機、レンタカーや、道の近くに雨水貯めて24時間循環式の融雪できるものを作ったり、

累進課税強化したり、儲かっているところにお金を出して貰ったり、予算配分考えてガソリンや電気を買うのを半額か全額補助して人とももの行き来を活発にすると良いと思いました。

以上、秋田県の皆さんも増々のご活躍ご健勝お祈り申し上げます。